



2024年度 市政懇談会
＜町田第二地区町内会・自治会連合会＞

次 第

[日時] 2024年10月21日(月) 18:30 ～ 20:00

[場所] 市民協働おうえんルーム

司会進行： 市民協働推進担当部長 横山 法子
町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 藤川 孝之

○ 連合会長の挨拶

町田第二地区町内会・自治会連合会 会長 中 一登

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 図書館機能の集約の検討状況について

【生涯学習部】

- 2 シバヒロの日陰対策について

【経済観光部】

- 3 街路樹の伐採について

【道路部】

- 4 今井谷戸交差点の歩道橋について

【道路部】

- 5 学校の統廃合に伴う避難施設の減少への対応について

【防災安全部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 西山 忍

**２０２４年度 町田第二地区町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)**

[日 時] ２０２４年１０月２１日（月）１８：３０～２０：００

[場 所] 市庁舎 市民協働おうえんルーム

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

防災安全部長 大貫 一夫

経済観光部長 唐澤 祐一

道路部長 深澤 香織

生涯学習部生涯学習総務課長 西久保 陽子

生涯学習部図書館長 中嶋 真

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

町田第二地区町内会・自治会連合会長 ほか８名

事務局 市民部市民協働推進課 ５名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第二地区町内会・自治会連合会副会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第１部 地域の議題に関する意見交換

１ 図書館機能の集約の検討状況について

さるびあ図書館と中央図書館の集約につきましては、昨年の市政懇談会で「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」に基づき、２０２６年度に「集約方法の決定」をするとのことご回答いただきました。現在、意見交換会などを進められていると思いますが、図書館機能の集約について、その後の検討状況と今後の展望をお聞かせください。

【回答】

図書館機能の集約の検討状況について、お答えいたします。

さるびあ図書館につきましては、施設の老朽化を踏まえ、中央図書館への統合に向けた検討をしております。また、意見交換会やアンケート調査などを通じていただいた様々なご意見を踏まえ、地域に残すべきサービスや将来に向けて必要なサービスについて検討を進めているところでございます。

今後の展望についてでございますが、まずは2024年度中に、これまでいただいたご意見をまとめ、地域の皆さまにフィードバックさせていただきます。

2025年度には、集約方法の素案についてお示しし、地域の皆さまとの対話を重ねたうえで、2026年度に集約方法を決定いたします。

《質疑》

町田市中町中央町内会

このさるびあ図書館のことについては、昨年度もこの場でお話しいたしましたし、意見交換会も、私は何度も出て、そこでお話をしております。ちょっと今の回答を聞きましてびっくりしたのですが、意見交換会ときは、図書館機能の集約ということをおっしゃっていました。ですから、図書館機能の集約について私たち町内会から対案のような話をさせていただいて、あの地域の複合化を含めて、それから、子ども図書館の機能についての提案などもさせていただいているのですが、どうも今の回答だと、中央図書館への統合ということ、そのような回答があってびっくりしました。私たちは再三、あの場にさるびあ図書館を残していただいて、その機能をどうやったら集約するかという提案をさせていただいていました。

今の回答ですと、中央図書館への統合の仕方、その意見集約と聞こえます。ですから、当初のご回答からどんどん中央図書館への集約ありきと聞こえてくるのです。私たちは、当初からそれではないですよという話をさせていただき、提案をさせていただいていたと理解していただいていると思いますが、そのようなことは、どこか違うところで決まったのでしょうか、今、課長さんからご回答があったのですが、お願いいたします。

生涯学習部生涯学習総務課長

集約という言葉は1つにまとめるという意味です。意見交換会におきましても、さるびあ図書館をそのまま残すわけではないことをご説明させていただいたところです。将来にわたって図書館サービスを継続していくために、図書館の再編が必要だという認識です。図書館の様々な機能の整理を行うとともに、将来に向けて必要なサービスなど、地域の皆様のご意見をいただきながら今後検討してまいりたいと考えております。

町田市中町中央町内会

課長さん、昨年の意見交換会は最初からいらっしゃいましたか。担当の方は、今のようなことは全く説明されていませんよ。違っていますよ。後ろにいらっしゃいます館長さん、どこかで変わったのでしょうか、私は今びっくりしているのですが、どうですか。

町田市中町中央町内会

今の話で、三、四年ほど前ですかね、最初にこの話が決まったときに私どもの町内会館で町内会員に対して意見交換会を開いていただいた。そのときの話は、集約する意見に対して意見を求めるという話だったのです。今の話ですと、もう決まっているからという具合に聞こえます。

そのときに、私どもの町内会館から子ども目線、高齢者の目線で中央図書館まで歩いて、いろいろなことを調査してくださいと私はお願いしました。その話は一切回答がないのです。小さい子どもは何が危険かと。小田急線の第1踏切を越えて行かなければならない。それともう一つは、高齢者の方でも車を使って今のさるびあ図書館に来られている方がいます。中央図書館に行った場合、駐車場もないですね。

そういうことをまずお願いしたのですけれども、その回答が一切ないのです。全く集約することで決定してしまっているから、その説明をここでやりますよとしか私どもには聞こえないのです。もっとひどいことを言えば、さるびあ図書館を潰すよという具合に、私には聞こえるのです。

町田市中町中央町内会

市長、どこかで変わったのですか。全然違いますよ。

町田市長

前にも、私からお話ししていますよね。3年ほど前ですけれども、全く同じ意見を聞いています。子どもが歩いて行けるとところに図書館があるというなら、40も50も市内に図書館ができることになりますよと言いました。遠いとか近いとかいう議論もありますが歩いて行ける小学校は42校あるのです。図書館も42個つくるのですかと逆に聞いたことを覚えていらっしゃいますか。

仮にさるびあ図書館がなくなって中央図書館に行くと、子どもは歩いて行けないというような話は、3年前に聞いています。そのときに私は皆さんは四十幾つ図書館をつくるつもりなのですかと反論しました。市には四十幾つも図書館をつくる計画はありません。子どもたちが歩いて行けるとところに全部図書館をつくったらえらいことになるということを説明したはずです。

だから、そのときは、小学校の数だけの図書館をつくらないという意味で、逆に言うと、小さい子が歩いて行けるかどうかというのは、図書館についてのキーワードではないのです。

町田市中町中央町内会

そこは、同じ町内会の方が話をされました。そのとき、さるびあ図書館はなくすのですとはっきりおっしゃっていません。私はそのように理解しております。それは市長の認識の間違いで、そのときは、まだ図書館の……。

町田市長

では、何で子どもの足で行かれなくなるから反対とおっしゃったのですか。私のほうからそういう提案をしているからです。

町田市中町中央町内会

違います。私たちは、ご存じのように、町田市議会で存続を求める請願が採択されました。そのように市議会でさるびあ図書館の存続を決めていただいたという前提の中で、そういう説明を受けているのですから、集約方法は存続ありきで、どうやったら図書館の機能を統合するのかご意見を聞きたいということですから、いろいろな対案を申し上げて、これまで意見交換会でやってきたのです。

さるびあ図書館の館長さん、そのような認識をずっと私は、あの会合に一緒に出ていましたから。どうですか、逆に聞きたいのですが、さるびあ図書館はなくすとはっきりおっしゃっていませんよ。課長さんも今初めておっしゃって、いや、うちの町内会はびっくりですよ。帰って報告しなければいけない。

図書館長

先ほども課長が申し上げたとおり、説明会の場では、さるびあ図書館は、そのままということはないということは再三説明をしてきたと、私としては認識をしております。

町田市中町中央町内会

去年だったですかね、検討しますという話が出たのです。我々は、今のさるびあ図書館の敷地、保健所とか、あれを1つの施設にまとめて、例えば高層ではないですけども、ビルみたいに建てて、空いたところに公園をつくってもらいたいという要望というか、希望も出しました。そういう話はどうなっているのですか。あそこの利用です。

町田市長

すみません、話がずれていっているのですが、市街地の公共施設の再編計画の中であそこをどうするかという話なのですが、今のお話は、ここに担当がないので、取りあえず答えようがないのです。

町田市中町中央町内会

その整備の中にさるびあ図書館を残してくださいと、会長が意見を出したのです。

町田市長

図書館の話なら、何の話をしているか分かりますよ。今は公園の話だったので、答えようがないということです。

町田市中町中央町内会

建物を複合化して1つにしてという意味です。ずっと言っていますよ。

町田市中町中央町内会

これは今、同じ町内会の方が初めて出したのではなくて、私たち町内会の、あその図書館機能の集約という対案として、すみれ会館、保健所、さるびあ図書館を一体にして、空いた土地を公園のようにしていただけないかというのは前からお伝えしている話で、これは初めてではないと思います。

町田市長

すみません、そうであれば、ここでの議題として最初から上げてくれれば担当の部長が来ますよ。その話は全然上がっていないですから、ここでやりようがないのです。ここでその話はできないです。なぜなら、最初から議題になっていない。1番は、図書館機能の集約の検討状況についてだけですから、再開発の今言ったすみれだとかのいろいろな話は、1番で議題として提起してくれなければ、ここで言い始めたのでは、この市政懇談会自体が成立しないですよ。困ってしまうよね。

町田市中町中央町内会

市長ね、この話が出る前からの意見交換会の際の議事録は残っていないのですか。議事録が残っていれば、それを市長は見ているはずなのです。だから、市長が今それを言うのはおかしいです。

(司会) 地区連合会副会長

市政懇談会の議事録は、ホームページに上がっていますよ。

町田市中町中央町内会

ホームページではなくて、議事録を見ていないのですねと。私どものアイデアを出しているのだから、それに対することを何も回答がないではないですか。

町田市長

いや、回答のしようがない。

市民協働推進担当部長

今、町田市中町中央町内会の方がおっしゃっているのは、意見交換会のことをおっしゃっているのですよね。

町田市中町中央町内会

意見交換会は、我々は分からない。

市民協働推進担当部長

今の場ですと、申し訳ないのですが、市政懇談会なので、今、意見交換会のお話から端を発してしまったところはあると思うのですが、ほかの議題もあるので、今は市政懇談会に限ってお話をさせていただければありがたいのですけれども。

町田市中町中央町内会

図書館機能の集約の検討状況について回答があったので……。

町田市中町中央町内会

今、課長から1番の回答があったので、今までの、ずっと図書館機能の集約について検討状況がどうなっているかということでお聞きしたのですよ。そうしたら、回答がいきなり中央図書館に統合が前提の、決定のような話をされたので、それを聞いたということです。全然外れていないです。

町田市長

それは、再編整備の話とは関係ないです。聞かれた部門の人間が来ていないということは、そういうことなのです。この議題は別の議題だから来ていないのです。

町田市中町中央町内会

来ていなくても、市長、そこは回答が違っているのだから。

（司会）地区連合会副会長

ちょっと議論がかみ合っていないのですが、こればかりやってもあとの問題に行かないので、図書館機能と書いてあったから、多分そういう答えになったと思うのです。これは跡地がどうなるのか、そこまでやるのだったら、そこまでの議題で上げていないと市のほうも答えようがないみたいなので、取りあえず、この問題はここまでということでよろしいですか。次の問題に進んでいかないので。いろいろ含むところもあるし、言いたいことがたくさんあるのは分かるのですが、申し訳ないですけども、2番に。これも多分、町田市中町中央町内会に関連してくる問題かも知れないのですが、進ませてもらいます。

2 シバヒロの日陰対策について

2014年5月に旧庁舎の跡地にできたシバヒロは設置から10年が経過し、多目的広場として地元の人々が多く集まる憩いの場として定着しており、今後も地域で活用していきたいと考えています。しかしながら、このところの猛暑の中で日中の利用が厳しい状況が続いています。昨今の気候変動を見聞きするたびに、この暑さが一夏で過ぎるとは考えにくく、人々が安心して集えない環境にあります。

地元住民が猛暑時にも憩いの場として使用できる対策を講じ、整備を進めていただけないでしょうか。

【回答】

経済観光部長

昨年度からご要望いただいております「シバヒロの日陰対策」につきまして、昨年度は端にあるベンチ付近に木陰をつくれないうか、ということでございました。こちらにつきましては、植樹や屋根付きのベンチなど構造物等を整備いたしますと、時間帯により太陽の位置が変わるため、思った場所に日陰がつかれないことや、時期によっては日陰の影響で芝生が枯れてしまうことから、何か他の方法がないか検討してまいりました。

現在のところ、パラソルやサンシェード（小型のドーム型簡易テント）の貸出しを行っておりますので、そちらをご利用いただきたいと思います。

2025年度に向けて、となりますが、構造物ではなく、可動式の日除け設備等により、夏場のシバヒロの滞在環境を向上させるための方策を検討しております。

最後となりますが、市では、猛暑日には、不要不急の外出を避けていただくよう市民に呼びかけている状況もございますので、皆様の健康を第一にお考えいただいた行動をお願いいたします。

《質疑》

(司会) 地区連合会副会長

日陰対策については去年も質問させていただきまして、そのときはシバヒロを何かほかに使う予定があるかも分からないという、どこかの小学校の建て替えであそこを使わないといけないので、そういったものをつくれないようなお話があったのですが、今回は、日陰対策を来年度あたりに計画をされているということですのでよろしいのですか。

経済観光部長

具体的にどういうものというのは、まだお示しできないのですけれども、可動式の日除けの設備みたいなものがないかということで、お金を確保しなければいけないので、まずそこからなのですが、そういうところも含めて今まさに検討しています。今こういうものとお示しできないのですが、何らかの対策は取っていきたいと考えています。

(司会) 地区連合会副会長

では、来年度には何か日陰対策ができてくることになるかと思います。

町田市中町中央町内会

市長もお話しされていたと思いますが、シバヒロの評判が大変いいのですよね。町田市民だけではなくて、ほかの市の方も、この中心市街地にああいう広場があるということだけでもほっとする。私たちは、そこに住んでいる者として、芝生の管理は大変だと思うのですね。それから、予算もかけていただいて、いつも緑の青々した状況を本当にありがたく感じております。

市長にもお話ししておりますが、毎週土曜、日曜日、ラジオ体操も行っていて、地域子どもたちも参加するようになってきてまして、今使わせていただいております。そのほかにイベントがすごく、毎週、土曜、日曜に使っているので、芝生の養生は大丈夫かなと思いながら見ているところですが、非常に多くの団体で活用が行われていますので、私たちは今後とも、あの空間、そして、あの芝生の維持をしていただければ大変ありがたいと思っております。先ほどの小学校の建て替えのときは、シバヒロを校舎に充てるのは仕方のないことだと思いますが、それまでは何とかああいう形で残していただきたいと。

日除け設備の可動式、これはまだどんなものか分からないということですが、ぜひ予算をつけていただいて、それがあればまた利用される方も多いのではないかと。それから、近隣の保育園の子どもたちが結構あそこに来ているのです。ぜひ市長、見に行っていただきたいのですが、町田街道があり、連れてくるまでが大変なのですが、あちこちの保育園から来るのです。

森野やよい自治会

あとがあるのだから長く話をしないで、何を質問したいの？

町田市中町中央町内会

質問というか、可動式の日除け設備の整備をぜひ進めていただきたいということです。

森野やよい自治会

最初からそう言えばいいではないですか。この会も８時までと決められているのだから、一言、可動式を検討してくださいと言えばいいではないの。それを芝生を整備しろだとか、そんなこと、ここであなたが言わなくてもいいのだよ。質問をするときは、簡単に説明してくださいよ。

3 街路樹の伐採について

環境保全が重要視されている中で、木曽団地付近の街路樹の伐採が進み、植栽も取り除かれています。この道は学校の統廃合が進んでいくと、子どもの通学路となる可能性が高い場所です。地球温暖化が進む中、炎天下を子どもたちが毎日歩くことになるのではないかと懸念しています。

街路樹を伐採した理由及び今後の植樹の計画についてお聞かせください。

【回答】

道路部長

議題３の街路樹の伐採についてお答えします。

【投影資料１】現在、鎌倉街道の木曽団地東交差点から、本町田小学校前を通過して今年の５月に開通した町田都市計画道路３・３・３６号線につながる木曽団地南交差点までの約９００ｍの区間において実施している無電柱化及び歩道拡幅工事に伴い、街路樹を伐採しております。

【投影資料２】本事業は、２０１７年度に町田消防署が現在の場所に移転されたことを受け、大規模災害の際、倒木や電柱の倒壊による緊急車両の通行機能の阻害防止等、防災機能の向上を図るとともに歩道幅を２．５ｍから３．５ｍに拡幅し、幅１．５ｍの自転車通行帯を整備することで、安全に安心して歩ける歩行空間の確保を目的として進めている事業でございます。

【投影資料３】街路樹の植栽時期につきましては、無電柱化及び歩道拡幅工事の最終年度となる２０２９年度に行う予定でございます。

《質疑》

地区連合会会長

この写真を見ると本当にきれいにできているのですが、無電柱化は、地元の人たちは知っているのかしら。

道路部長

2019年度、事業に着手する前に説明会を開催させていただいて、ご説明はさせていただきます。

地区連合会会長

そのような話は全然出てこないのですよ。ただ、今、大きい桜の木だとかがあつたのを全部切っていますよね。下の根っこがはびこって、自転車でも、あるいは歩くのでも引っかかるからという話のほうが多かったの。だから、結局、そのことだけがみんな頭にあつて、無電柱化なんてさっぱり聞いていないのです。こういうことが考えられている、あるいはこのようにしていくのだということがあれば、説明して納得してもらえと思うのです。何で根っこまで取ってというのが住民の一部の方の声です。

道路部長

2019年度には、無電柱化のご説明と併せて、市政懇談会でも歩道の根上がり、結構危ないというご意見をいただいたので、街路樹に関するアンケートで意見をいただいています。街路樹は要らないといったご意見もありましたが、大きくなり過ぎないものにしようということで、当初、ケヤキを予定していたのですが、ソヨゴというあまり大きくなり過ぎないで、そこそこ日陰にもなる木を提案させていただいて、2029年度に植樹する予定になっています。無電柱化のPRが足りなかったのも、また引き続き説明させていただきたいと思います。ありがとうございます。

（司会）地区連合会副会長

鎌倉街道は今、無電柱化の工事をやっています、その流れということですか。町田第三小学校近辺はちょうど今、工事をやられていますよね。

道路部長

東京都のほうで進められているものと、町田市道がありますので、続きと言えば続きです。

（司会）地区連合会副会長

こちらは市道で、向こうは都道で。そうですか、ということは、きれいにまた街路樹が植えられて、元どおりになるというふうに思っていればいいわけですね。分かりました。

4 今井谷戸交差点の歩道橋について

都道、市道が交差して広い交差点ですが、設置されている歩道橋が朽ちてきているように見受けられます。地域ではあまり使用者を見かけない状況ですが、今後の歩道橋の整備（撤去の検討を含む）についてお聞かせください。

【回答】

道路部長

議題４の今井谷戸交差点の歩道橋についてお答えします。

今井谷戸交差点は、都道である鎌倉街道と、町田市道である町田４３９号線、通称「団地いちよう通り」が交差する交差点です。

【投影資料１】鎌倉街道に架かる赤色でお示しした歩道橋は東京都が管理を行い、町田４３９号線に架かる青色でお示しした歩道橋は町田市が管理を行っています。

まず、東京都が管理する歩道橋につきましては、今年度末には、構造の内部に雨水が侵入しないように、連結部分をシール材で補修する予定です。

工事の際には、交通規制を伴う場合もあるため、別途、東京都から地域の方々にお知らせすると伺っております。

次に、町田市が管理する歩道橋につきましては、今年度、法令に基づき５年に一度健全度を確認する点検を実施します。

健全度が悪かった場合は、機能を維持するために修繕するか、それとも撤去をすべきか、小学生の通学路等の利用実態を踏まえつつ２０２５年度以降に検討する予定です。

《質疑》

地区連合会会長

私もあそこはよく行くのですけれども、使っていないですよ。自転車で通る人も、あの階段は自転車で上がれないしね。それで今見ると、青い部分は市の管理だと思いますが、穴が空いていませんか。

道路部長

この前、修繕させていただきました。

地区連合会会長

そんな状況で、果たしていつまで置いておくのか、使っていないものを修繕しながら置いておくというのはどうかなと。滝の沢交差点のところにありましたね。あれも結局、誰も使わない。それで腐らせてしまったということがあるので、これは直すにしても、ちょっと考えてもらったほうがいいと思う。これは東京都も同じですよ。

道路部長

資料のとおり色の分かれているところで市の管理分と東京都の管理分で分けられなくはないのですけれども、やはり交通量の多い大きな交差点なので一体で考えていかなければいけないと考えております。

9月9日（月）の朝、職員による現場調査を実施したところ、通学路として使っている小学生は皆さん渡られていて、もし渡らない場合は保護者が一緒に横断歩道を渡っており、70人、80人という単位では本町田東小学校の小学生が通学に使っているという結果になっております。あと先ほどお話に出ました穴については、9月17日に、FRPのシートを張って補修済みです。5年前の健全度調査では構造的には問題ないということなので、また今年の調査結果を元に検討させていただきます。

旭町中央町内会

昨日もレクリエーションで、うちの会館から薬師池までウォーキングをやったのですけれども、左側のこの場所を通って、この横断歩道を渡ったのですが、全部、赤も青もあるならいいのですけれども、ここもなく、ここもないのでしょうか。だから、中途半端なことで設定してあるので、どうしてそういう形を取ったかは分かりませんが、渡る時間を調整すれば小さなお子さんでも楽に通れるのですよ。昨日もお子さんが8人ぐらいいましたけれども、大人が誘導して渡れば、そんなに危険でなくて渡れると思いますので、もうこれは使っていないのだから要らないと思います。そんなことに費用をかける必要はないと思います。ほかで使い道がいっぱいありますから。

道路部長

検討させていただきます。ありがとうございます。

（司会）地区連合会副会長

1周するような歩道橋なので、結構使い手があるかも分からないのだけれども、ちょっと中途半端な感じはしますよね。

5 学校の統廃合に伴う避難施設の減少への対応について

学校の統廃合により、避難施設が減少することを懸念しています。廃校となる周辺地域における避難施設の今後の在り方についてお聞かせください。

【回答】

防災安全部長

町田市では、災害時に避難者が移動困難になる状況を踏まえ、市民の皆様に安心・安全に避難していただけるよう、閉校となる小中学校についても必要な

備蓄をするとともに、各種設備や躯体などの老朽化の状態を鑑み、使用可能な体育館や施設は活用しつつ、屋外用避難テントなども利用してまいります。

《質疑》

（司会）地区連合会副会長

この前、会長会で大分説明があつて、第三小学校の跡地というか、避難施設については、ひなた村で対応するという話でしたが、今日は本町田の方がいないから、なかなかそういう問題が出ないのかも分らないですが、この避難施設の減少の対応について、何かありますか。

町田市中町中央町内会

三小の跡地利用についてのアンケートを取られていると思いますが、その跡地のところで防災機能を持ったものができると考えてよろしいのでしょうか。小中学校でも備蓄を行うということは、地域住民の方は大規模災害のときに在宅避難が基本だと、さんざん聞いております。しかし、私たちの町内会でも高齢者の方や、おひとり住まいの方で、自宅が壊れていないのだけれども不安でということも含めて、どうしてもそういうときにはみんながいるところに行きたいということで、小中学校が今、そのための避難施設になっていると思いますが、その跡地は、ただ防災倉庫だけあっても役に立たないので、そういう機能を持った何かを考えられているかどうか。その見通しはいかがでしょうか。

防災安全部長

跡地利用については、企画政策部門が検討していますが、我々のほうとしては、防災機能、今現状にも防災備蓄倉庫はあります。こちらを残しつつ、どういうしつらえがあのでエリアに置けるのかということと、あと、町田三小の体育館は河川側にありまして、段があります。川との関係がありますと湿気が結構あつて、体育館の躯体が今後もつかどうかは再検討させてもらうような形になろうかと思ひます。普通のところであれば、湿気がなくてうまくいくでしょうけれども、あそこのエリアの体育館を見る限り、私も何回か使わせてもらったのですが、川の水の湿気と日照の関係で非常に日当たりが長くないというところがある中で、体育館が使えるかどうかをちゃんとした形で精査させてもらった後に、跡地のそういった利用、あと、我々の持っている備蓄のものを活用していきたいと考えております。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、第2部ということで、今25分なので、50分ぐらいまでお話を

します。市政報告ということで、すべて説明していきますと9時ぐらいまでかかりますので、切り抜いてやります。

まず、東京都立の児童相談所（現八王子）の町田市内の設置が決まっております。来年の6月以降から山崎保育園の隣に空いているところがあるので、そこに事務所を構えてもらいます。

子ども・子育てサポート複合施設、特に説明はしませんが、ここは、旧忠生第四小学校、現教育センターの敷地に教育センター機能をつくるのですが、29年度に開設する予定で進めていますので、児童相談所もその中に入るということで、28年まで3年か4年、山崎保育園の隣にいて、将来は今の教育センターのところに引っ越してくるということです。

新たな学校づくりは、いろいろもう情報が行っている、それ以上のお話は、特にここではありません。

次に小・中学校の給食費。町田市は、半年前に第2子以降は無償化になりました。実は、もうそういう話が聞こえているかもしれませんが、年明けになりますと、小学校も中学校も全部無償化になります。中学校全員給食は、この後説明しますが、堺エリアは既に始まっています。中学生は現在ランチボックス形式と併用して実施していますが、それも無償になります。年が明けると、全小中学生が給食費を払うことはなくなります。

まだ補正予算は12月議会に出していないのですが、2024年度当初から第2子以降を無償化している、2024年度の第4四半期からは全員無償化になります。

それから中学校給食センターについては先程も少し触れましたが、堺エリアは今年度の2学期から全員給食が始まりました。鶴川エリアの中学校は3学期から給食センターが稼働します。この地区を含む町田忠生小山エリアは来年の1学期から給食センターが稼働します。南エリアは来年の2学期から稼働するということで、2025年2学期には全市の中学校で全員給食が開始することになります。それから、高齢者、この場合の高齢者の施設は特別養護老人ホームの説明ですが、申込み後、1年以内に入る方の割合が十四、五年前に比べて、今はもう92%、90%以上になっています。こういう市は、東京で言えば、西多摩以外は基本的にありません。東京23区の場合には、基本的には茨城、栃木、群馬になります。23区内で特別養護老人ホームをつくるのは非常に大変なことで、あれだけ賃料が高いところで立地できないということなので、今、主には茨城、栃木、群馬、場合によっては山形、秋田の特別養護老人ホームに入居するというふうに東京の場合はなっています。ですが、町田市の場合は92.3%。市内に特別養護老人ホームがあるので、青梅とか、あきる野とか西多摩は別ですが、市内で入居できる市はほとんどありませんので、この数字は普通の数字ではなくて、かなり特別な数字です。

続いてスポーツ公園は、西田・金森の調節池、それから、木曽東調節池上部

広場、木曽団地のトンネルを抜けた向かい側ですが、し尿処理施設があったところで、それぞれ金森が28年度、木曽東が27年度に完成予定です。忠生スポーツ公園は23年ということで、去年9月にオープンしました。第2次のところは十分先になります。

先ほどちょっとシバヒロの話があったのですが、茶色くならないように冬芝に全部入れ替えていますので、毎年2,000万、3,000万、かかります。忠生のスポーツ公園もそこまではできていないのですが、子どもたちが非常に遊んでいますので、芝の高さをかなり低くやっています。うんと伸びてしまうと遊んでもらえないということですが、普通の公園は年に1回しかカットしないです。はっきり言って、草ぼうぼうで苦情が来る頃にやっとぐらいのペースでやっていますが、こういう忠生のスポーツ公園みたいなところは、それでは全然間に合わないという状況です。つまり、子どもたちが快適に遊べるようにするには年に五、六回やらないと、多分間に合わないと思いますので、これから、こういうところを整備するのは維持管理がとてめにかかるということです。

国際工芸美術館は今年度のうちに着工しようということで進めております。27年度に開館をする予定です。それが開館する前に、版画工房、喫茶店、公園の案内棟、体験棟は、たしか半年前に、同じ27年度の早期につくる計画になっています。

それから、公園の中にエレベーターを新設することになっていまして、着地するところ、下は、彫刻のある池があるのですが、そのやや南側というか、原町田四丁目向きに着地します。したがって、上から来ると、原町田四丁目のほうから平らにそのまま来て、一番先端に光る大きな玉ころみたいなものがあるのですが、その左側に歩いていくとエレベーターに乗れるという形で、基本は、原町田の町の中からずっと車椅子で公園なり、美術館に行けるようにしようというのが、このエレベーターの計画です。普通の人にとっては、帰るのに楽だと。行くときは下りでいいのだけれども、帰りが大変なので、そこはエレベーターを造ると。こちらは1年早く完成する予定です。

また、ここは直接関係ないのですが、鶴川駅の北口にバス乗り場を新設しています。小田急線のホームから少し下がって、ずっとデッキで、マルエツというスーパーまで行けるように造って、そこからバス停のほうに、島式なのですが、そこに下りられるように階段を造ると。もちろんエレベーターも造るのですが、そういう整備を今やっています。私は鶴川駅利用者なので物すごく不便になります。工事中は、バスを降りて電車に間に合わないのではないかとというぐらいくるぐる回って、すごく時間がかかりますが、27年度には完成する予定です。もちろん、同時に小田急電鉄の鶴川駅舎、線路の上にはできるのですが、そこができて、エレベーター、エスカレーターができて、つまり、JRで言えば町田駅みたいな感じでできます。

町田駅もそうですが、鶴川の場合、南北に自由通路が、駅の中を通って、和光大学側というか、川崎側に行く通路ができることになっています。そちら側には既に区画整理事業がスタートしています。そちら側にも駅広を造って、三輪緑山からバスを入れようという計画でやっていまして、南の土地区画整理事業も、それから、バスを入れるための道路整備事業もスタートしています。

続いて、熱回収施設です。温浴施設は2年前にできました。資源ごみの、あそこにあった瓶、缶の処理施設は、カチャカチャうるさかったところですが、閉鎖します。その代わりとして、相原地区に整備するのですが、今はまだまだ土地が全部買い切れていません。したがって、すぐはできなくて、今のところ最短で2028年度にならないと、このビン、カン、プラスチックの処理施設ができないということになります。2026年、つまり、1年ちょっと後に町田市域全域がプラスチック分別になります。横浜線の南では、今もう既にプラスチック分別をやっているのですが、袋はピンク色で、手数料は2分の1です。ですから、黄色い袋の2分の1の手数料で、プラスチックをそちらに入れてもらって、ほかのごみは黄色い袋、もしくは緑色の袋にというのを1年4か月後に全域でやります。今、お話ししました資源ごみの処理施設はできていせんので、民間の、多分、横浜辺りの事業者だと思うのですが、持っていてももらいます。したがって、今はトラックの運転手不足だとか、車両不足だとかで非常に高い値段を払って運んで、処理してもらうことになりました。そういう意味では、プラスチックは非常にお金のかかる処理になります。もちろん、相原ができれば、半分はここで処理できるのですが、そのまた半分以上、実は上小山田で計画しているのですが、まだまだそちらも進んでいせんので、当面、ごみ処理に非常にお金がかかる時代が5年、10年かかるかなという感じです。

続いてデジタル化ということですが、幼稚園・保育園各種申請手続、市役所の関係の申請手続は全部スマホでできるようになります。スマホ以外でももちろんできます。それから、工事の施工管理もオンラインでできるよう実証実験を行っています。例えば、長野県の川上村に休暇村がありますが、この間、工事をしました。遠隔地にあるため、一部オンラインで現場の施工管理をしています。

それから、道路占用の工事手続もオンライン化しています。これは、道路に穴を掘って無電柱化をするために、今一番やっているのは中央通りを下に入れようとして作業しています。上はクモの巣が張ったみたいな電柱になっていますが、あれは全部なくなります。町田市道ですので穴は勝手に掘れないので、町田市役所の道路部に申請するのです。今までは、道路部に来て、図面を広げて、ああでもない、こうでもないとやっていたのですが、今はお互いのパソコン上で、画面で申請して、画面で受け取った市役所が問題なければ、そのままオーケーを出す。例えばN T Tの人、東京ガス的人是会社にいたままでしてし

もうというシステムをこの4月から本格的に始めました。

言いたいのは、この手続は企業の側にとって非常にありがたいのですが、これを行っている市がないのです。1,700ある市町村はどこもやっていなくて、町田市だけがこの手続のオンライン化をやっています。ただし、困ったことに、どんどん申請が来ていまして手に負えなくなっている。担当者を増やさないと処理できないというくらい、やはりこれは、役所に行って図面を広げてというのがいかに大変だったかということです。会社にながらできるといったら、どこの会社も、みんなそちらを選ぶのです。ところが、申込みがどんどん来てしまって、今困っています。というくらい、自画自賛、結構いいサービスだなと思っています。どこの県も、どこの市役所もやっていないので、やればいいのになと思っています。

最後に給食費・教材費オンライン化、これもそうですね。給食費はこの12月でおしまいですが、教材費は、教員の負担軽減というところで、部活動指導員を中学校全部に配置しているとか、いろいろ書いてあるところで、教材費も公会計化で、先生がお金を集めないことになりました。前は、給食費も先生が集めていたのですが、教材費も去年からやめてしまいました。したがって、教材費の申込みというか、支払いも全部オンラインになりましたので、一々やる必要がない。スマホ上で決済が終わるようにして、かなり便利になりました。デジタル化は、早い話がお客さんの便利になるためにやっているわけですよ。保育園の申込みだとか幼稚園の申込みも全部そうになりました。ただ、道路占用工事は、便利になったので申込みが来て、今度は役所が困っているというのはありますが、そういう意味で、DX、デジタル化はサービスの改善のためにやるということが第一だと考えています。

飛ばしてしまいましたが、木曽山崎パラアリーナ整備事業というものを27年度末完成予定で進めています。これについては、パラアリーナという名称のとおり、障がい者スポーツチームの活動優先です。もし障がい者スポーツ団体や人が申し込んでいなくて隙間があれば一般の人でも使えるという順番で、障がい者スポーツ優先の体育館を整備中です。東京では、私の知る限りでは2番目です。1個目はもう既に稼働してしまっていて、日本財団というか笹川財団のほうで、もうやっています。都内では2番目の障がい者優先の体育館になります。そういう意味では、東京都内でも画期的になります。これはもう2020年、現場的には2021年にオリンピックをやりました。そのときに私どもがパラバドミントンの強化練習会場をインドネシアに提供しましたが、その機会に、パラバスケットの人たちとか、いろいろな人たちから優先して使えるところはないかと当時言われていましたので、計画をして、あと3年ぐらいかかりますが、やっとなにやっとなんてなってきたということなので、付け加えておきます。

《質疑》

グランリビオ町田ガーデンコート自治会

今の市長のお話の中で2点ほどお聞きしたいのですが、木曽山崎パラアリーナは、木曽山崎のどこに造られるのでしょうか。

それともう1点、今のお話には出ていないのですが、今、何通りというのかちょっと分からないのですが、東急から芹ヶ谷公園に抜けていく大通りに歩道を何かいろいろやっていますよね、凸凹を造っていますよね。あれは二・六の市を再現するのか、何かをやる実証実験だと思うのですが、それが何になるのかを説明していただければとありがたいと思います。

町田市長

1番は私から、2番は経済観光部からお答えします。

木曽山崎のパラアリーナは、お話ししました今工事中の、2025年4月1学期稼働の町田忠生小山東エリアの給食センターを整備している旧忠生第六小学校が跡地で空いているので、半分に仕切って、片方は給食センター、片方は、今のパラアリーナでやっています。これは旧忠生第六小学校の跡地利用ということで、中学校給食センターとパラアリーナと同じところに、敷地を2分割して造っています。

経済観光部長

原町田大通りの、いろいろ今造作をいじっていますけれども、概要をご説明いたします。やっていることは、歩道を広げて、滞留空間と我々は言っているのですが、人がたまるような場所、空間を広げて、それを町なかのにぎわいにつなげていきたいということで、歩道を広げる工事をしています。

もう一つが、民間交番が前にあったと思うのですが、新しい情報発信拠点として造り直そうということで、あそこの建て替えも今併せてやっています。来春、3月ぐらいには道路も新しい交流拠点施設もオープンできるのかなということで、今まさに工事をしているところです。

町田市長

付け加えますと、あの民間交番は、私が社長をやっているまちづくり公社が建築を発注しています。ですから、私があそこの設計、施工の発注者であります。あちらの会社からは1円ももらっていないのですが、仕事だけはしています。あそこに今、工事用の囲いがありますので、どのように使うかという絵とか、写真をやっています。実は、すごくたくさん同じ質問を何度もされているのです。あそこは工事をしているが、何にするのだと言われるのですけれども、一度もあそこに何をするとところかという張り出しをしていなかったのですから、分からないのは当たり前です。非常に不親切だといって道路部長のほうで、デザインの絵は私の会社で、できればパラソルとか、日除けをやっ

て、テーブルと椅子を出して、ずっと下から、工事をしているところを全部、両サイド、飲食ができるようにしようという計画になっています。さっきの話とちょっと違うのですが、日陰ができないといけないので、あそこで飲んだり、食べたり、コーヒーとか、そういう場所にするつもりで、4車線が2車線になってしまうのです。

グランリビオ町田ガーデンコート自治会

では、オープンカフェですか。

町田市長

そうです。オープンカフェになります。

グランリビオ町田ガーデンコート自治会

あそこで昔、二・六の市で物を売っていたとか、そういうことをやるわけではないのですね。

町田市長

物を売るのではなくて、4車線を2車線にして、その分、両側とも道路幅を2倍ちょっとして、そこで……。

グランリビオ町田ガーデンコート自治会

フランスか、パリか何かの町並みみたいに……。

町田市長

そうです。ああいうものです。

グランリビオ町田ガーデンコート自治会

だから、みんながあそこでお茶を飲んだりすると。

町田市中町中央町内会

給食センターについてですけれども、当然やられていると思うのですが、アレルギー対策はどうされているでしょうか。

町田市長

アレルギー対策については、幼稚園、保育園の段階から親御さんに調べて全部やっています。小学生のときに引き継いでいます。当然、小学生のときから、また中学に引き継ぎますので、全員そういう履歴を持って学校を上がっていきますので、心配はありません。

町田市中町中央町内会

では、安心ですね。

それからもう一つ、工芸美術館は、東京新聞の今月の初めだったですかね、いろいろ反対意見があって白紙に戻しますというような記事が出ていたのですが、その件はいかがでしょうか。

町田市長

今の予定では、12月議会で工事契約の議案が出る予定ですから、全くそういう話の影も形もありません。

旭町中央町内会

鶴川にポプリホールという和光大学のホールがありますよね。山崎のところに桜美林大学のホールがあるのです。あそこを市で借り上げて、何かそういう催し物をしてほしいという希望です。そういう交渉をしてください。いろいろな催し物があるのですけれども、町田市民ホールだけでは足りないでしょう。鶴川のポプリホールは少し規模が小さいのです。桜美林大学のいい施設ができたそうですから、それがもし市で使えるような形で交渉ができたらと、私の希望です。

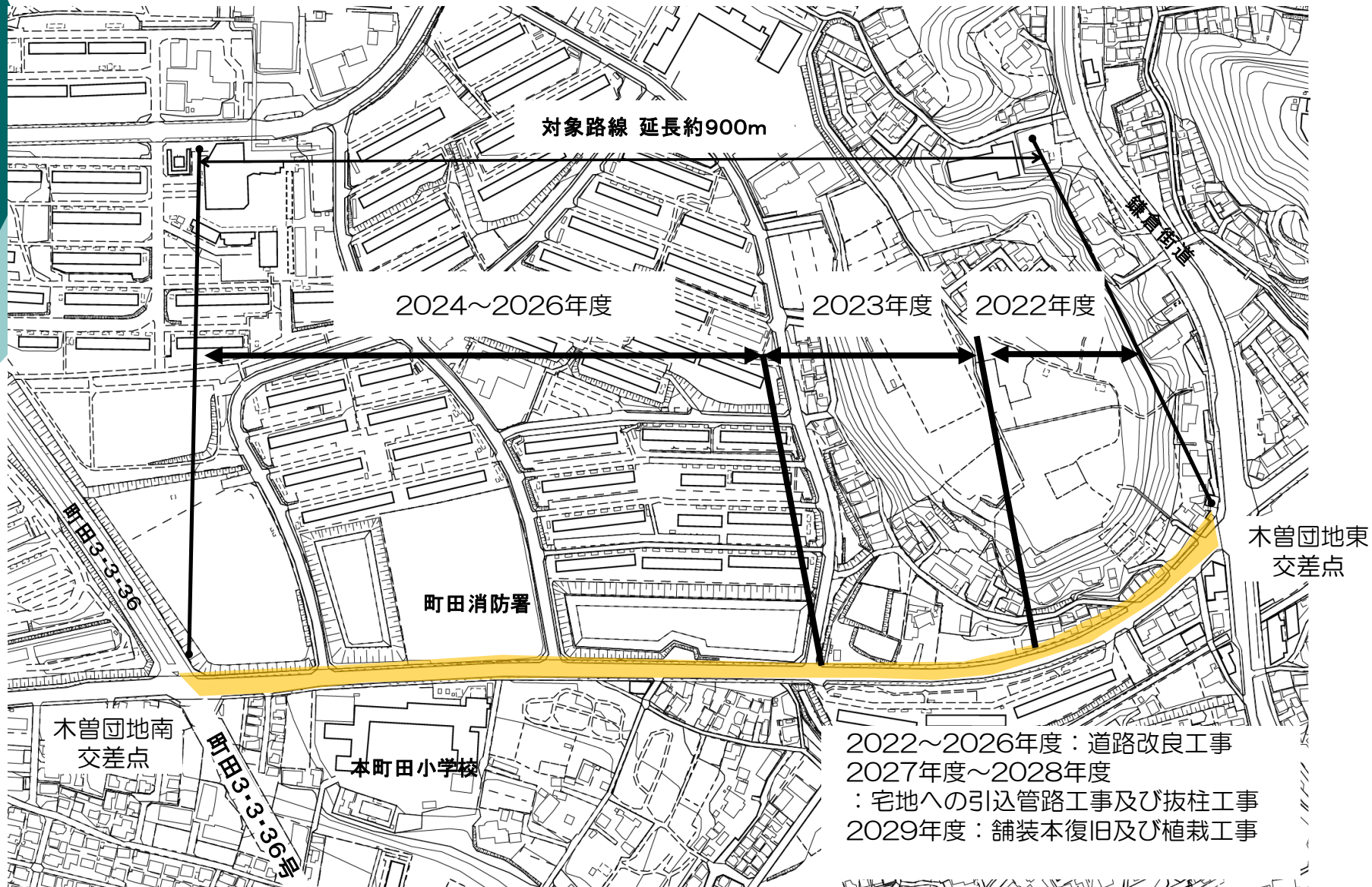
町田市長

分かりました。もちろん、芸術系学部の施設なので、芸術系の学生の優先なので、隙間があって使えるのであればと思います。

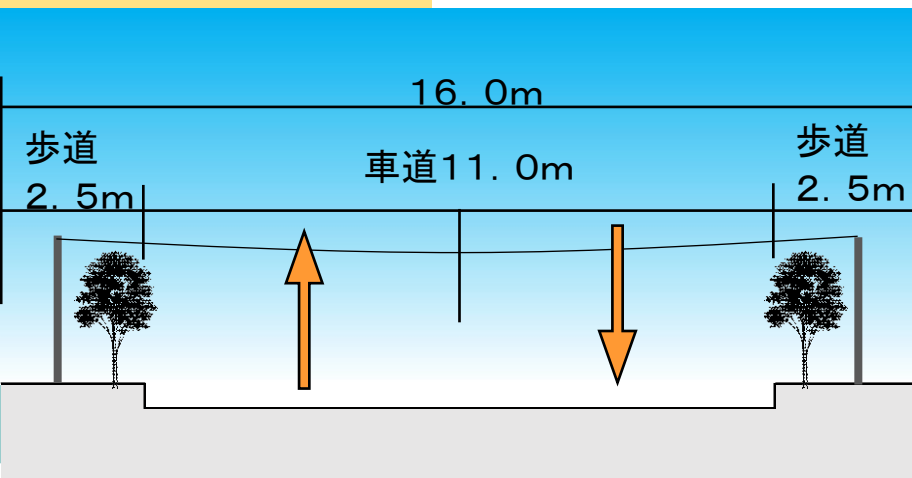
○閉会の挨拶（町田第二地区町内会・自治会連合会副会長）

町田第二地区 議題3

投影資料1 無電柱化および歩道拡幅工事



町田623号線 現状



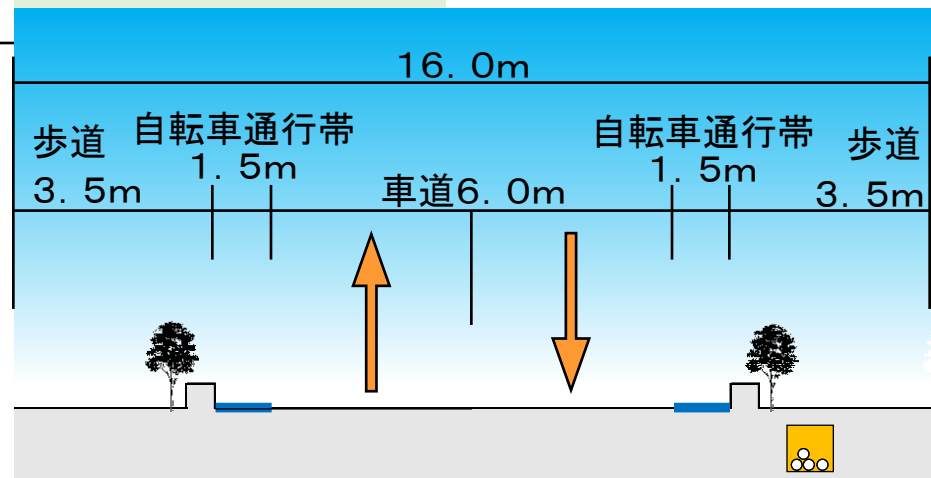
電柱あり

歩道幅 2.5m

植樹はけやき

自転車レーンがない

町田623号線 整備後



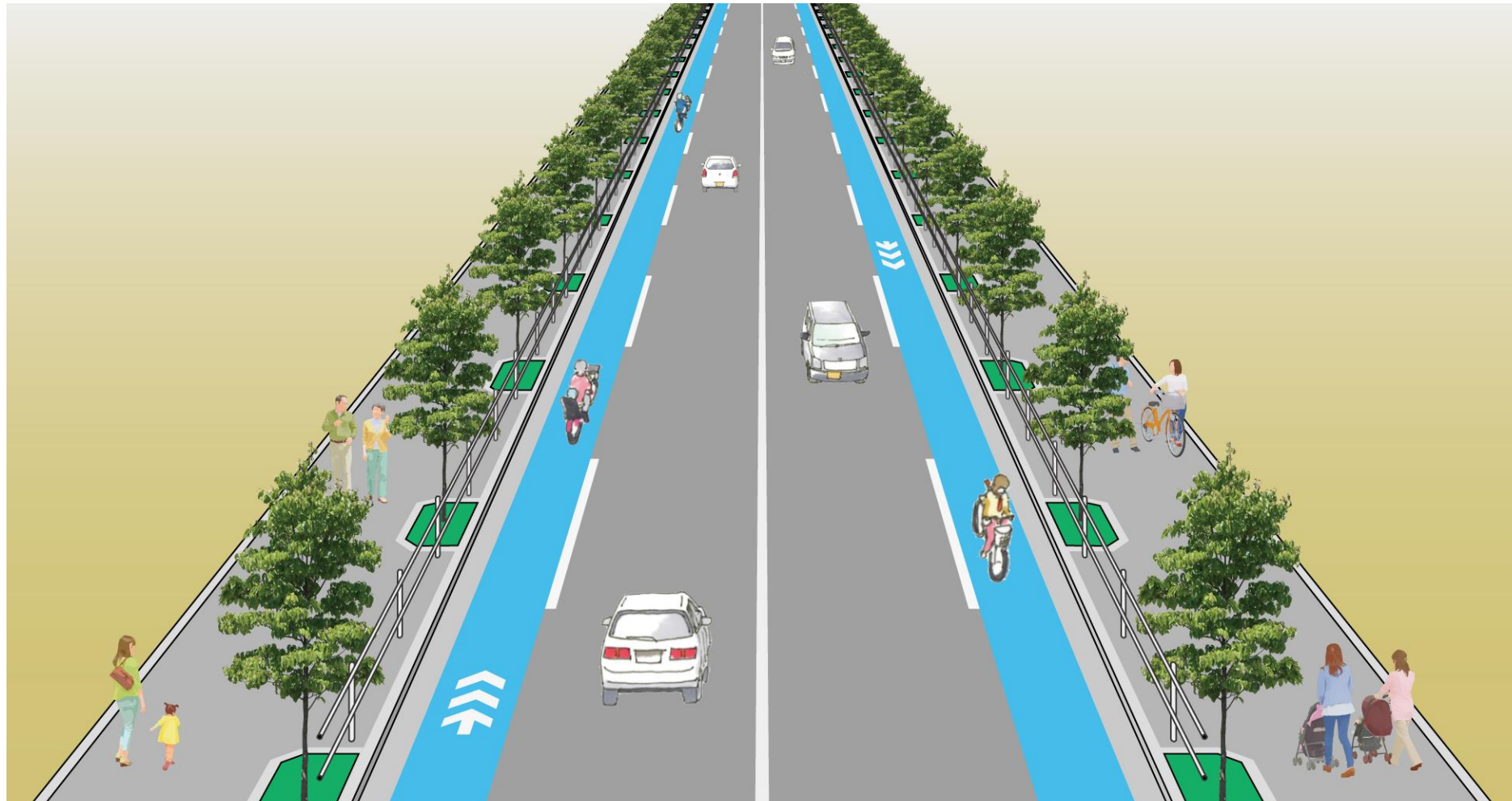
電柱なし

歩道幅 3.5m

植樹はけやきより樹高が低い樹木

自転車レーンがある

町田第二地区 議題3
投影資料3 整備イメージ



町田第二地区 議題3
投影資料 参考 樹木の整備

ケヤキ（樹高10m程度）



ソヨゴ（樹高5-7m程度）



議題4 今井谷戸交差点の歩道橋について 投影資料1



鎌倉街道

至 野津田町

市道町田439号線
(団地いちょう通り)

市道町田439号線
(団地いちょう通り)

至 山崎団地

鎌倉街道

至 藤の台団地

至 中心市街地

75m

